



▲写真 T-022

てんじんじや  
天神社のトチノキ

万場スキー場の近くに天神社があり、その山側に立つ。

▼写真 T-024

はやたに おおとち  
早谷の大栃

朽木の山中にあり、地上3~5mで大小4分岐する樹形。要ガイド。(写真・Web画像)



▲写真 T-023

べつざんどう  
別山道の大トチノキ

2009年、白山山系の別山道の入口周辺に点在するトチノキの巨木調査を実施。幹周5~7m代のトチノキ12本を確認した。日本有数のトチノキの巨木群生地である。その内最大のトチノキ。登山道より山側に30m入った斜面に立ち、2~4mで4分岐する。谷側に水平に伸びる幹は20mもあり、樹勢は旺盛である。

▼写真 T-025

くまの  
熊野の大トチ

2本が根元融合する樹形。山側の株は主幹が空洞化するが、樹勢は旺盛で、谷側の株は単幹樹。巨木DBの幹周は、二本の合計周か？







▲写真 T-026  
うっさか  
 白坂のトチノキ

廃村になった白坂集落にある観音堂の対岸急斜面に立つ。



▲写真 T-028  
しちめんざん  
 七面山の大トチノキ

七面山の中腹、栃之木安住坊に立つ見事なトチノキ。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 T-029  
おの  
 小野の大トチ

国道から林道を 2km 進んだ深山の山の斜面に立つ。近くにもう一本トチノキの巨木がある。(写真・Web 画像)



▲写真 T-030  
はたがみ  
 畑上の大トチノキ

畑上より荒れた林道を 40 分程登り、山道に入った斜面に立つ。国指定でありながら、林道には標識が全くない。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 T-031  
こうぼる  
 神原のトチ

建男霜凝日子神社の里宮に立つ見事な単幹樹である。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 T-032  
たかいわ  
 高岩神社のトチノキ

神社境内に立つ見事な単幹樹である。  
 (写真・Web 画像)





▲写真 T-033

こながたわ  
小長迫の大トチノキ

廃村になった小長迫集落の奥、赤い鳥居の先に御神木として立っている。これまでの幹周 8.6m は、山側 1.3m にある主幹の大コブ上を測定したも。M 式では、コブの下を測定する事となり、意外と小さい。しかし、大きく分岐幹を広げる樹形からくる巨大感は、幹周 8m 級である。



◀写真 T-035

いばらしま  
茨島の大トチノキ

茨島地区の稲荷大明神の脇に立ち、四方に大きく枝葉を伸ばし、枝張りの見事なトチノキである。  
(写真・Web 画像)



▲写真 T-034

とちのきとうげ  
栃ノ木峠のトチノキ

余呉高原スキー場入口近が旧街道の峠で、少し林道を入った斜面に立つ。街道の難所を通る旅人を見守ってきた。

▼写真 T-036

しんみょう  
新名白山神社のトチノキ

白山神社本殿前に立つ。地上 4m で 2 分岐し、分岐幹は直立して天を突く。北幹は 6m で大枝を出す。巨大な割に繁る葉が少ないのが気になる。







▲写真 T-037

不動滝ふどうたきのトチノキ

トチノキの巨木越しに見えるのが不動滝である。滝の前に立つ巨木としては希有なものではないだろうか。

▼写真 T-040

与四郎よしろうのトチノキ

地上3mで5分岐し、四方に幹を広げる様は圧巻の樹形。主幹分岐部から直立して立上がる細い幹は二分岐し、上部で一本になるという不思議なもの。



◀写真 T-038

筒笠中宮神社けがさちゅうぐうのトチノキ

白山信仰が盛んだった頃に栄えたという筒笠中宮神社本殿の前に立つ見事なトチノキ。6mで2分岐し、大きく枝葉を広げる若々しいトチノキ。



▲写真 T-039

新屋にいやの大トチノキ

一帯にはトチノキの群生があり、最大株は道路のすぐ上に立っている。

▼写真 T-041

枯死・利賀とがのトチノキ

1983年撮影。その後枯死して、伐採される。

